

藤原宮第8・9次および10次の調査

1 藤原宮第10次北半の調査

藤原宮第10次調査は、橿原市営四分団地造成に先立って実施したもので、鷲栖神社の東80m、藤原宮の西辺地区でおこない、目下発掘を継続している。

現在までに検出した主な遺構は、掘立柱建物4棟、柵2列、溝3条、土壇7ヶ所などである。調査地区西端にある南北柵Aは、宮城南門中軸線より西464mの位置にあり、藤原宮の西を限る大垣にあたる。柱穴は真南北に通っており、いずれも西側に柱抜穴がある。柱間は2.66m等間にわりつけられる。この柵列の東11.8mの位置に、幅2m、深さ0.6mで、南から北へ流れる南北溝Bがある。溝内埋土からは、完形の軒瓦、丸・平瓦が大量に出土した。掘立柱建物4棟は、いずれもこの南北溝の東で検出した。いずれも柱通りが真南北に対して東へわずかに振れている。発掘区の中央にある南北棟Dの桁行柱間は南2間分が広く、北3間分が狭い。この建物の東1.5mに、建物と柱通りのそろう南北柵Eがある。そのほかの掘立柱建物はいずれも小規模なものである。土壇には、古墳時代初期のもの1、6世紀中頃のもの1、7世紀中頃のもの3、藤原宮期のもの2がある。南北溝内の藤原宮期の土壇Cより軀が出土している。現在までのところ最古の実例であろう。なお、以上概略を述べた遺構は、弥生時代の土器包含層を掘り込んで作られている。

南北溝Bからあわせて4点の木簡が出土した。いずれも保存状況



クビキ出土状況

が悪く、判読できる文字は少ない。判読できる
 釈文は以下の通りである。

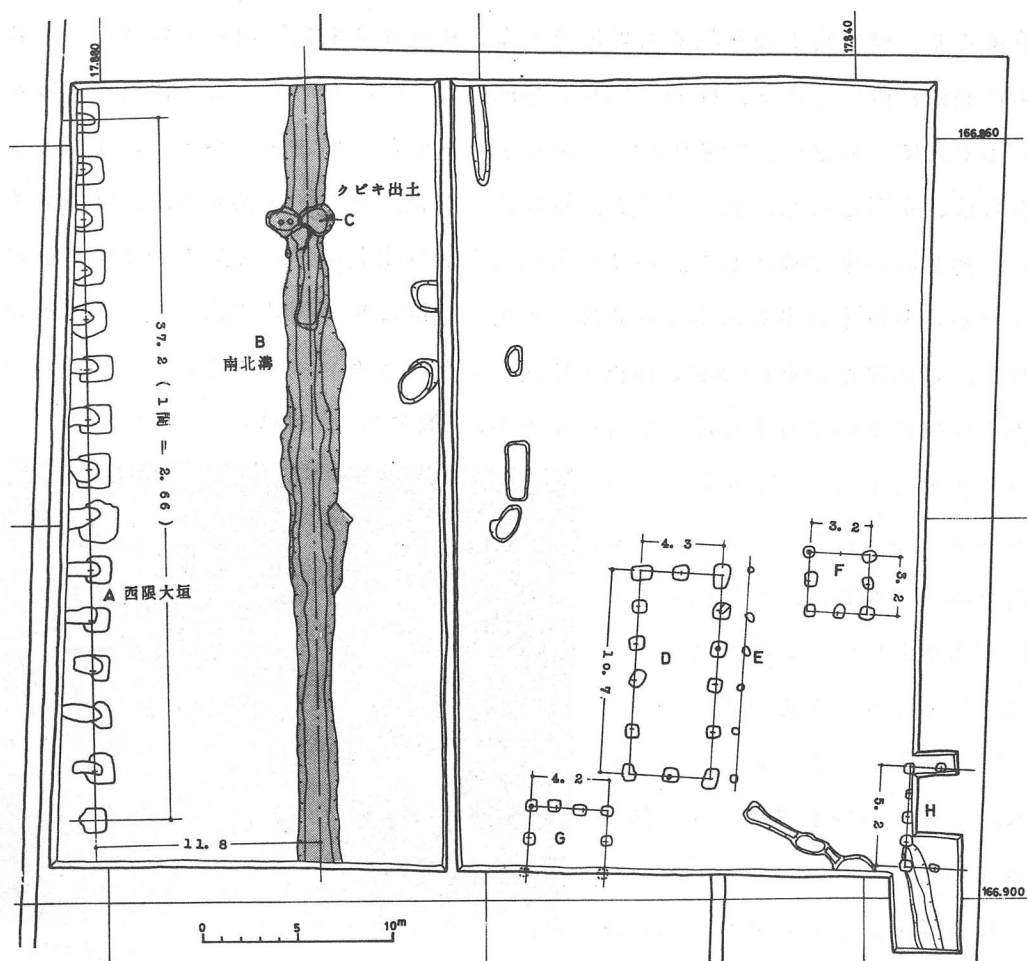
① 六
 (衛カ)

② 母

③ 一斗五
 (升カ)



西面大垣と溝 (北から)



第10次調査北半遺構配置図

2 藤原宮第8・9次の調査 (鴨公小学校建設地の調査)

藤原宮西方官衙の調査は、「概報3」において第5次～7次までの経過を報告した。引続き第8・9次の調査をし、鴨公小学校移転地の調査を終了した。昭和47年春以来、1年半にわたり約1.5haの調査をし、この地域の遺構配置がほぼ明らかになった。検出した主な遺構は建物29、柵5、井戸9、土壇6と道路およびその側溝である。これらの遺構は、A期とB期の2時期にわけられる。

A期は藤原宮に関連する最も古い時期である。遺構は調査地の西南部で交差する東西および南北方向の道路SX1081・1082と、その両側の側溝がある。この溝は藤原京条坊割位置に一致するが、埋土から瓦の出土はない。道路によって四分割された東南部では、道路にそって柵SA1215・1216で囲んだ一郭がある。今回の調査で柵SA1215は4・3間分におよんだ。東端では側溝とともに削平されていて、検出できなかったが、さらに東方に延長するものであろう。柵の内側では、小規模の建物が6棟、道路をへだてた北側でも建物が11棟ある。なかには、建物が3棟重複していて、A期のなかで建てかえのあったことを示している。建物群のなかには、小さな倉庫とみられる総柱建物を3棟検出した。この時期の建物配置は、まばらで特に計画性はみられない。

B期の建物は、道路を廃し、側溝を埋めたてて建設された。今回の第8・9次調査では、この時期の遺構は検出できなかった。しかし、前回までの調査で述べたように、調査地の西半を中心として桁行18間と20間の大規模な建物が4棟あった。その配置は、北に東西棟をおき、その南の両側、つまり、西に2棟、東に1棟の建物を配している。建物に囲まれた中央に大きな空間がある。さらに、今回の調査地に、B期の遺構が無かったことは、調査地の東半部に広大な空間があったことを示す。平城宮・平安宮の西辺地域は馬寮に該当するが、B期の大規模な建物の計画的配置は、官衙の性格と関連するものかもしれない。

従来、未調査であった藤原宮の官衙について、遺構の配置が次第に明らかになってきた。B期が藤原宮の整備された時期の遺構であり、A期は藤原宮造営当初の姿を示す遺構がふくまれている。

時期	遺構	柱間数 桁 × 梁	総長 桁 × 梁	時期	遺構	柱間数 桁 × 梁	総長 桁 × 梁	時期	遺構	柱間数 桁 × 梁	総長 桁 × 梁
A	SX1081 東西道路	(幅員6m)		A	SB1273 東西棟	3 × 2	5.0 × 3.6	B	SB1100A 南北棟	18 × 3	51.0 × 8.0
	SX1082 南北道路	(")			SB1275 南北棟	2 × 2	4.8 × 3.6		SB1100B 南北棟	18 × 3	50.3 × 8.0
	SA1215 東西柵	43 以上	37間=83.1		SB1302 東西棟	2 × 2	3.6 × 3.4		SB1110A 南北棟	18 × 3	48.0 × 8.0
	SA1216 南北柵	11 以上	10間=23.0		SB1303 南北棟	4 × 3	6.5 × 4.0		SB1110B 南北棟	18 × 3	49.7 × 8.0
	SA1304 南北柵	2	2.8		SB1305 南北棟	3 × 2	4.7 × 3.2		SB1200 東西棟	18 ×	49.7 ×
	SA1319 東西柵	3	4.3		SB1310 南北棟	6以上×2	9.9 × 3.2		SB1020 南北棟	20 × 2	54.0 × 5.6
	SB1010 東西棟	5 × 2	11.1 × 4.8		SB1311 南北棟	4 × 2	9.2 × 3.8		SA1170 南北柵	3	16.2
	SB1011 南北棟	3 × 2 (総柱)	3.9 × 4.1		SB1312 南北棟	4 × 2	7.3 × 3.2		SE1105 井戸		
	SB1019 東西棟	3 × 2	6.4 × 4.6		SB1313 南北棟	4 × 2	8.0 × 3.9		SE1150 "		
	SB1040 南北棟	3 × 2	5.7 × 3.7		SB1314	2 × 2 (総柱)	3.5 × 3.2		SE1160 "		
	SB1210	2 × 2 (総柱)	3.1 × 3.0		SB1315	2 × 2	3.8 × 3.5		SE1225 "		
	SB1220 南北棟	4 × 2	6.8 × 3.4		SB1316 東西棟	2以上×2	4.2 × 3.3 以上		SK1140 土壇		
	SB1230 東西棟	3 × 2	5.6 × 3.2		SE1205 井戸						
	SB1240 南北棟	5 × 2	10.5 × 4.6		SE1235 "						
SB1241 東西棟	5 × 2	10.0 × 4.7	SE1290 "								
SB1270	1 × 1	2.2 × 1.6	SE1300 "								
SB1272 南北棟	2 × 1	4.2 × 3.2									

藤原宮第5～9次調査発掘遺構一覧表

